

第 17 回 早稲田大学 ecoforum (第 36 号)

○合理的な環境活動を活性化させる

「環境問題」——近年、このワードをよく耳にします。新聞やニュー番組で、経済、ビジネス文脈で、そして人々の会話の中で、環境問題はもはや常識となっている。そういっても過言ではないと思います。しこで、あえてお伺いしたいと思います。

「なぜ、環境問題を解決しなければならないのでしょうか？」

・・・恐らく、多くの人は明確に答えられないのではないかと思います。そして私たち早稲田大学 ecoforum は、この点に強い問題意識を感じています。すなわち、①環境問題へのアプローチが、感覚的なものに終始してしまっていること：大部分の人は、「何となく環境問題を解決しないとイケない」という漠然とした感覚しかないのではないのでしょうか。②それによって、環境活動の方向がミスリードされているということ：今の会社、特に政治・経済面において、本当に環境問題の解決に結びつくような活動がいくつあるでしょうか。営利目的のもの、競争の手段として利用されているもの、逆に環境に負荷をかけてしまっているもの、そしてそのことに気づかず、ややもすれば流されている私たち。環境問題は、非常に深刻で捉えどころのない問題です。この現状でそのような難解な問題を解決できるでしょうか。それが私たちの問題意識です。

では何が必要か。私たち考えるのは、『合理的な環境活動』です。すなわち、「環境問題って何?」「なぜ、何のために行うの?」「どうすれば効率的にできるの?」というように、why? what? How? ということ突き詰めて、明確なビジョンを描き、それによって導かれる活動を行うということです。これを私たちは『合理的な環境活動』と呼び、その活性化を mission としています。

その mission 実現のための活動は、大きく次の 2 つに分けられます。

<情報発信>・・・現在、全国の環境サークル向けのフリーペーパーを作成しています。アカデミックやポップな記事、企業や環境団体の活動紹介などを通して、私たちの考えを知り、理解し、取り入れてもらうことをコンセプトとしています。

<大学の環境マネジメントの学生会>・・・私たちは、早稲田大学の提携サークルとして、早稲田大学の環境マネジメントのお手伝いをしています。ハード面、ソフト面における提案や、『早稲田大学学生環境連絡会』(教職員と学生の懇談会)の運営を行っています。

私たちはまだ日の浅い団体です。日々試行錯誤で、失敗ばかりしています。しかし日々勉強し、学生らしさ、早稲田らしさを存分に発揮して、この mission を達成できるよう精一杯頑張ります!